ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

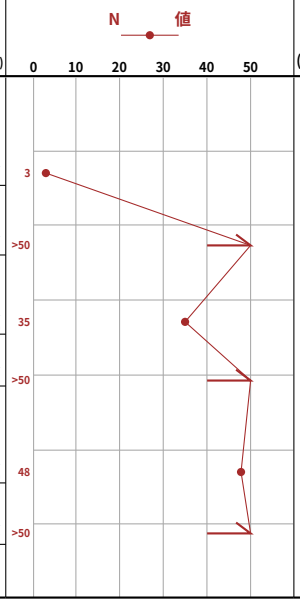
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-3	調査位置						北　緯	36 ° 47 ’ 55.3000 ”
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2010-09-21 ～ 2010-09-30			東　経	140 ° 14 ’ 48.4000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	245.90 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 50.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具
総掘進長	6.27 m								エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	243.40	2.50	2.50		崖錐堆積物 (Tl)	褐 / 褐灰～黄灰			0.0～0.80m礫混じり粘性土、上部と下部に木根を含む。 0.80～2.50m礫混じり砂質土。細礫を多く含む。φmax3cm。最下部に木片を含む。		09/25 0.91
2	242.40	1.00	3.50		砂岩 (Ss)	灰			中粒砂岩。所々細かい割目が多い。		09/27 4.59
3	240.80	1.60	5.10		砂岩 (Ss)	灰			2.50～3.50mは全体に細かい割目が多く、割目沿いは風化している。4.90mの割目に黄鉄鉱がみられる。2.7m、3.9m付近に頁岩を挟む。頁岩は細かい割れ目が多い。		
4	240.30	0.50	5.60		頁岩 (Sh)	黒			細かい割目多く、割目沿いに粘土化。		
5	239.63	0.67	6.27		砂岩 (Ss)	灰			細かい割目が多い。上位との傾斜30 °。		
6											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／13	1	1／8	3／31	3
1.46					
2.15	12	24	14／5	50／25	>50
2.40					
3.15	7	11	17	35／30	35
3.45					
4.00	22	28／5		50／15	>50
4.15					
5.15	14	18	16	48／30	48
5.45					
6.00	12	21	17／7	50／27	>50
6.27					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/25
						09/27